

第8分科会 国際理解教育

【研究課題】 国際社会に生きる資質や能力を育成する国際理解教育

【研究の視点①】 日本の文化や伝統を基盤とし、互いの文化や伝統を理解・尊重する国際理解教育の推進

〈研究発表〉 子ども一人一人に「国際社会にたくましく生きる力」の基礎をはぐくむ

国際理解教育と校長の在り方

北海道 函館市立柏野小学校 藤井 良江

〈発表概要〉

子ども一人一人に、「国際社会にたくましく生きる力」をはぐくむ国際理解教育を推進するために、以下の3点を校長会の基本的視点として共通理解を図った。

- 我が国の歴史や伝統・文化について、自ら理解を深めるとともに、自己を確立する態度を養う。
- 異なる文化を持つ人々と互いの文化を認め、理解し尊重し合う態度を養う。
- 交流や体験活動、主体的な発信・行動等を通して、共生・共存する態度を養う。

そして、次のような内容の研究を行った。

- (1) 各校の国際理解教育の現状と課題の把握
- (2) 具体的な実践の交流
- (3) 成果と課題
- (4) 考察（方向性）

当日は、函館市内各校のの実践例も冊子に入れて紹介する予定です。